

Self Help 自助

まずは「自分の命は自分で守る」ことが防災の基本です。いざという時に自分の身を守るため、避難場所・経路の確認や非常持ち出し袋を準備しましょう。

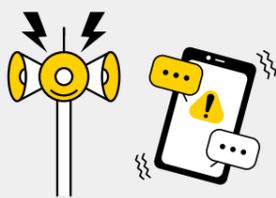


1 非常持ち出し袋を準備



非常持ち出し袋を携帯して、避難場所までどのくらいかかるか時間を測ってみましょう。水や非常食、常備薬などは最低限必要ですが、自分が持ち運べる量にしましょう。

3 防災情報の入手・早期の避難行動



正確な防災情報を入手する手段をスマートフォン等に登録・メモして、必要な時にすぐにチェックできるようにしておきましょう。そして実際の災害時は発信される防災情報に注意し、早期の避難行動を心掛けましょう。

正確な情報を入手するために

| | | | |
|---|---|--|--|
| <p>日向市公式アプリ</p> <p>防災情報・ハザードマップ・河川の状況・事前の備え・避難先などの情報をアプリ1つで確認できます。知りたい情報をPUSH通知で受け取ることも可能です。</p> <p>iOSを利用の方 ↓ Download on the App Store</p> <p>Androidを利用の方 ↓ GET IT ON Google Play</p> | <p>防災行政無線放送内容確認ダイヤル</p> <p>市が放送する防災行政無線が聞き取れなかった時は、電話で確認することができます。</p> <p>☎0800-200-3149</p> <p>【利用できる放送内容】 12時間以内に放送した内容で最新のもの</p> <p>【利用料】 無料(固定電話、携帯電話、スマートフォン)</p> | <p>日向市防災情報配信サービス</p> <p>大雨警報などの気象情報や地震・津波に関する情報などの防災情報をリアルタイムで配信します。自宅の電話やファクシミリで情報を受け取ることも可能です。</p> <p>【申請方法】 所定の申請書に必要事項を記載のうえ、防災推進課に提出してください。二次元コードを読み込み、空メールを送信して申し込む方法もあります。</p> | <p>日向市公式LINE</p> <p>市政情報を積極的に発信し、LINEのコンテンツを充実させることで、市民の皆さんの利便性の向上を図ります。</p> <p>↓</p> <p>二次元コードの読み込み、またはID検索で「@hyugacity」と検索し、友だち登録をお願いします。</p> |
|---|---|--|--|

2 避難場所・経路を確認



普段から家族との連絡手段や住んでいる地域がどのような場所にあるか、災害の種類に応じた避難先と避難経路を確認しておきましょう。避難場所は市が指定した場所以外にも親戚・知人宅などいくつか考えておきましょう。また、災害時に通行ができなくなる可能性もあるので、避難場所までの行き方も複数考えておきましょう。



特集

一人ひとりの備えと

地域の支え合い



6月は土砂災害防止月間です

これから大雨や台風の本格的な季節に入ります。令和4年9月に発生した台風第14号では、東郷町域など耳川流域での浸水被害をはじめ、農地や道路などで甚大な被害を受けました。いつ大きな災害が私たちに襲ってくるか分かりません。日ごろから災害に対して備え、いざというときに地域で助け合えるようコミュニケーションを大切にしましょう。

問 防災推進課 ☎66・1011

